DX Lab
Kagawa University

Kadai DX塾 Professional

―香川大学のDX人材育成プログラム―

香川大学 情報化推進統合拠点 情報人材育成産学官共創センター

1．　研修で終わらせず、業務を知る社員をDX/AX実践人材へ

DXの現場の課題

DXを推進する人材が不足している企業 **85.5%**

AI導入の効果は「業務の効率化・迅速化」が**91.6%**、「売上や利益の向上」は**3.9%**

不足：現場の知見とAIの基礎知識を持ち、自社へのAI導入を推進できる従業員

出典：IPA「国内企業のDX動向・AI活用動向のポイント」（2026年7月）

本プログラムの答え

- AIエージェントを使い、業務の仕組みを自分たちで作る演習（全員共通）
- ゼミで自社の業務課題を扱い、効率化の先の価値創出へ
- デジタルスキル標準で、学びを評価と役割につなげる

図：DXの現場の課題と本プログラムの答え

実践する	成果が見える	組織を超える
演習とゼミで手を動かす。ゼミでは自社の業務課題を扱える。実践の場は香川大学DXラボの内製開発の現場	デジタルスキル標準に基づくポートフォリオで、受講前から修了1年後まで5時点で可視化	参画企業の委員会で、DX人材の育成と処遇を企業の枠を超えて他社と議論する

図：本プログラムの3つの特長

採択　文部科学省「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」（令和7年度補正）DXプロ領域 ― 北海道大学・早稲田大学・青山学院大学・**香川大学**
受講対象　デジタル・AIに詳しい人も、詳しくない人も ― 経営企画・管理職／営業・マーケティング／情報システム・DX推進／非IT事業部門／自治体職員
実績　内製開発 **150**件超／研究論文 **27**本／教科書 **2**冊（2026年6月現在）／企業からのクロスアポイントメント教員

2．　デジタル人材育成プラットフォーム（３層）準拠の実践重視プログラム

第1層 講義
オンデマンド
共通科目
DXリテラシー1・2
専門科目
人材類型ごとに2科目

第2層 演習
オンライン／対面
企業データの事例に、AIエージェント・GitHub・MCPを使ってチームで取り組む
SDD・TDD・チーム開発

第3層 ゼミ
オンライン
ゼミⅠ（基礎コース）
自由課題に取り組む
ゼミⅡ（実践コース）
自社の課題に取り組む

講義はオンデマンド。集まる時間は、すべて演習とゼミに。

図：3層で、学びを成果へ

人材類型で育成を計画する（デジタルスキル標準 DSS-P）

- BA　ビジネスアーキテクト　2027年度開講
- D　デザイナー　2027年度開講
- SWE　ソフトウェアエンジニア　2027年度開講
- DS　データサイエンティスト　順次開講
- DM　データマネジメント　順次開講
- CS　サイバーセキュリティ　順次開講

＋ DX/AXリテラシー（人材類型共通）

図：人材類型と開講予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	◆入塾式			◆中間発表		◆成果発表・修了式	◆入塾式			◆中間発表		◆成果発表・修了式
基礎コース（6か月）	講義（オンデマンド・4～9月） 演習（夏季集中・8月） ゼミⅠ（オンライン・4～9月）											
実践コース（6か月）							講義（オンデマンド・10～3月） 演習（集中・冬期） ゼミⅡ（オンライン・10～3月）					

図：年間スケジュール（案）

※日程は予定。集中講義の場所・期間は企業のご要望に応じて調整

3．　企業に合わせて選べる、成果が見える

お申し込み（法人） → 受講前のスキル診断 → 講義・演習・ゼミ → 成果発表・修了 → 修了半年後・1年後のフォローアップ

デジタルスキルポートフォリオで、受講前から修了1年後まで**5時点**でスキルを可視化し、派遣元企業と一緒に効果を追う

図：修了までの流れ

企業に合わせて選べる

人材類型の組合せ
講義・演習の人材類型を社員ごとに選べる
ゼミの題材
自社の業務課題を持ち込める
受講時期
集中講義の時期を相談できる

図：企業に合わせて選べる

修了時に得られるもの

履修証明書
1コース94.5時間

デジタルバッジ
コースごとに交付

大学院（創発科学研究科）の単位への接続
2コース14単位

図：修了時に得られるもの

開講	2027年4月
期間・時間	1コース6か月・94.5時間
受講料	20万円／名（法人申込）
定員	50名／年
申込受付	2026年12月公開予定
お問い合わせ	jyohokikaku-h@kagawa-u.ac.jp

表：開講概要

KAGAWA UNIVERSITY